

インバランス収支計算書

2019年4月1日から
2020年3月31日まで

(単位 百万円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	143,649	営業収益	140,513
地帯間購入電源費	49,085	地帯間販売電源料	48,814
他社購入電源費	92,515	他社販売電源料	26,884
(インバランス対応取引費用)	(△ 10,404)	(インバランス対応取引収益)	(-)
(インバランスの買取りに係る費用)	(76,034)	託送収益	63,933
社内取引費用	2,048	接続供給託送収益	63,933
(インバランス対応相当額取引費用)	(-)	(インバランスの供給に係る収益)	(63,933)
(インバランスの買取相当額取引費用)	(2,048)	(インバランスリスク料に係る収益)	(588)
		社内取引収益	880
		(インバランス対応相当額取引収益)	(-)
		(インバランスの供給相当額取引収益)	(880)
		(インバランスリスク料相当額取引収益)	(3)
営業損失	△ 3,136		

注1：インバランス収支計算書の算定

インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における三十分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。

財務諸表作成時点で未確定のインバランス料金に係る精算額は見積値により計上している。なお、2019年度における確定額は、営業費用148,735百万円（地帯間購入電源費49,085百万円、他社購入電源費97,601百万円、社内取引費用2,048百万円）及び営業収益145,264百万円（地帯間販売電源料48,814百万円、他社販売電源料26,884百万円、託送収益68,685百万円、社内取引収益880百万円）である。

注2：インバランス収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は6,313百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は8,850百万kWhである。

注3：2019年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は6,930百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量の確定値は9,441百万kWhである。